事業所名　カンガルー療育支援室　世田谷ステーション

支援プログラム（児童発達支援）

作成日　令和7 年 1 月 9 日

法人（事業所）理念	・「いきいきとした子どもの豊かな未来を育む」を目標に掲げ、子どもたち一人ひとりをしっかりと受け止めたあたたかい支援を行い、子どもたちの成長の喜びを保護者様と共に感じていきたい。 ・良質な水準かつ適切な内容の療育サービスの提供を行うことにより、すべての子どもたちが健やかに成長することを目指します。いろいろなプログラムの提供を通して、子どもたち一人ひとりの将来の可能性を広げていくことを目指します。
支援方針	重症心身障害を持つお子様、医療的ケアがあるお子様を対象とした、児童発達支援・放課後等デイサービスの二つの機能を併せ持つ多機能型事業所です。 (1)主治医の指示と保護者の依頼・同意に基づき、吸入・経管栄養・呼吸器の管理などの医療的ケアを、看護師が実施いたします。 (2)保護者の依頼・同意に基duき、一人ひとりの状態に合わせたストレッチや歩行などの機能訓練を、理学療法士等の専門職が中心となり実施いたします。 (3)5感を刺激し感性を育み、発達を促す遊びや制作活動などの様々なプログラムを児童指導員等が中心となって提供いたします。 職員が専門性と役割を持ち、全員で協力しながらお子様に最適な支援を提供します。

営業時間	10 時 0 分から 13 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり　なし	施設からご自宅まで片道30分程度の範囲

		支　援　内　容	プログラム例
本人支援	健康・生活	・来所時、バイタルサインの測定、気管切開部、経鼻胃管、胃ろう部等のチェックを行い、お子様の心身の状態をきめ細やかに確認します。 ・医療的ケアがあるお子様に対しては、適切に医療ケアが受けられるよう、看護師による医療ケアの実施や医療器具の準備、環境設定を行います。 ・年齢に応じた生活リズムを身につけられるよう支援します。また、気候に応じて衣服の調節、室温の調節や換気をし感染症対策や安全への配慮を行います。 ・生活に必要な基本的技能を獲得できるよう言葉を掛けたり、聴覚的・視覚的に分かりやすい支援を提供します。 ・食事を通して食べることの楽しみや自助具等を用いて自身で食べる力を身に付けたり、準備や後片付けを一緒に行ったりする等、生活力の向上を目指していきます。 ・障害特性や側彎、拘縮状況について理解し、お子様が活動や休息しやすい環境にしていくための支援を行います。 ・季節や行事に応じた施設装飾や歌を歌い日本の四季・文化を感じることができる支援を行います。	・体温計・パルスオキシメーターによるバイタルサイン測定 ・看護師による吸引・吸入・注入・浣腸・呼吸器管理等 ・個々の実態を意識したタイムスケジュールの実施 ・音や絵カードの提示から時間に応じた行動の切り替え ・トイレトレーニング ・お友達と楽しく食事をする。 ・ポジショニングの評価 ・季節のわらべ歌遊び　等
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形に対してアプローチ、筋力の維持・強化を行います。 ・ラジオ体操、音楽に合わせて身体全体を動かす、トランポリン等から粗大運動の発達を促す支援を提供します。 ・就学に向け、安定して車椅子や座位保持位椅子に座る支援を提供します。 ・バランスボールでの姿勢保持を行います。 ・感覚機能に対する環境調整等を行い、5感を十分に活用できるような支援内容を提供します。	・リハビリ ・体操 ・風船で遊ぼう ・トランポリン ・バランスボール ・お散歩 ・小麦粉粘土 ・フィンガーペイント ・皮膚マッサージ ・ゆらゆらシーツブランコ ・くすぐりっこ　等
	認知・行動	・お子様一人ひとりの認知特性を理解しながら支援を行い、児童自身が受け取る情報を適切に把握、処理対応できるような支援を行います。 ・様々な素材を手のひらや指先、足で触る等、感覚を育む活動を提供します。 ・「始まりの会」で絵カードを用いて「日付、曜日、天気、今日の予定」の確認を行い、時間の認知形成を行います。 ・季節に応じて散歩や遠足などの屋外活動を提供します。 ・見通しを持った言葉かけをし、集団活動に参加できるよう支援します。	・お散歩、遠足 ・葉っぱで遊ぼう ・絵具で遊ぼう ・カレンダーを作ろう ・野菜スタンプ　等
	言語 コミュニケーション	・障害特性に応じて表情や目の動き、手の動き等小さな表出を把握することで相互コミュニケーションを図ります。 ・サインや絵カードを用いて他者とのやりとりをし、自発的な表出ができるよう支援します。 ・他者とのやり取りを通して、物事や現象、自分の行動等に対する言語の概念の理解を促すことができるよう支援します。 ・個々の障害特性に応じたコミュニケーションツールを活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。	・絵カードやサイン等での意思疎通ゲーム ・表出等から大人が言語化し、自分の感情と言葉が一致していくような促し　等
	人間関係 社会性	・お子様が安心できるような居場所を提供し、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行います。 ・手遊び、疑似体験活動を通して、他者を模倣する活動や体験活動を通して、社会性の発達を促します。 ・自己肯定感を育むことができるような成功体験を多く積める機会を提供します。 ・集団活動で他者と共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認めあい、仲間作りに繋がる支援を提供します。 ・長期休暇時期に外部ボランティア団体との交流をもち、地域の一員としての認識を育むことができるよう支援します。（午後訪問が多いため、午後まで利用可能なお子様対象） ・言語、選択、表情等から自身の感情や気持ちを他者へ伝えることができるような支援を行います。	・手遊び ・ごっこ遊び ・ゲーム ・ボランティア団体との関わり　等

家族支援	・保護者と施設間で連絡を取り合い、情報を共有できるよう努めます。 ・送迎時に施設での様子を伝えたり、家庭での気になる様子について伺い、お子様の成長や課題となること、困り事などを共有したり、いっしょに解決策を見つけられるよう支援します。 ・年に2回の面談を実施します。	移行支援	・学校進学時の移行支援 ・保育園等、併行利用先との連携
地域支援・地域連携	・支援に関わる他事業所等と情報を共有し、支援の方向性を統一できるように努めます。 ・ボランティア団体の来訪依頼をし、地域交流を行います。	職員の質の向上	・事業所内研修（月に一回）、外部研修への参加 ・児童発達支援ガイドライン、療育、制度、5領域にかかる読み合わせ等

主な行事等	4月　春の遠足、入学・進級を祝う会 7月　夏祭り 8月　夏の遠足、保護者面談	9月　保護者面談 10月　運動会・ハロウィンパーティー 12月　クリスマス会	1月　お正月遊び・保護者面談 2月　節分・保護者面談 3月　ひな祭り	その他　月一回　避難訓練 お誕生日会

事業所名	カンガルー療育支援室　世田谷ステーション	支援プログラム（放課後デイサービス）	作成日	令和7　年　　1

法人（事業所）理念	・「いきいきとした子どもの豊かな未来を育む」を目標に掲げ、子どもたち一人ひとりをしっかりと受け止めたあたたかい支援を行い、子どもたちの成長の喜びを保護者様と共に感じていきたい。 ・良質な水準かつ適切な内容の療育サービスの提供を行うことにより、すべての子どもたちが健やかに成長することを目指します。いろいろなプログラムの提供を通して、子どもたち一人ひとりの将来の可能性を広げていくことを目指します。
支援方針	重症心身障害を持つお子様、医療的ケアがあるお子様を対象とした、児童発達支援・放課後等デイサービスの二つの機能を併せ持つ多機能型事業所です。 (1)主治医の指示と保護者の依頼・同意に基き、吸入・経管栄養・呼吸器の管理などの医療的ケアを、看護師が実施いたします。 (2)保護者の依頼・同意に基づき、一人ひとりの状態に合わせたストレッチや歩行などの機能訓練を、理学療法士等の専門職が中心となり実施いたします。 (3)5感を刺激し感性を育み、発達を促す遊びや制作活動などの様々なプログラムを児童指導員等が中心となって提供いたします。 職員が専門性と役割を持ち、全員で協力しながらお子様に最適な支援を提供します。

営業時間					送迎実施の有無		施設からご自宅まで片道30分程度の範囲
平日	10 時	0 分から	13 時	30 分まで			
	14 時	30 分から	17 時	30 分まで		(あり)・なし	
休校日	10 時	0 分から	17 時	30 分まで			

		支　援　内　容	プログラム例
本人支援	健康・生活	・来所時、バイタルサインの測定、気管切開部、経鼻胃管、胃ろう部等のチェックを行い、お子様の心身の状態をきめ細やかに確認します。 ・医療的ケアがあるお子様に対しては、適切に医療ケアが受けられるよう、看護師による医療ケアの実施や医療器具の準備、環境設定を行います。 ・自身の体の部位を把握できるよう視覚的・聴覚的な働きかけを行います。 ・気候に応じて衣服の調節、室温の調節や換気をし感染症対策や安全への配慮を行います。 ・生活に必要な基本的技能を獲得できるよう言葉を掛けたり、聴覚的・視覚的に分かりやすい支援を提供します。 ・食事を通して食べることの楽しみや自助具等を用いて自身で食べる力を身に付けたり、準備や後片付けを一緒に行ったりする等、生活力の向上を目指していきます。 ・障害特性や側彎、拘縮状況について理解し、お子様が活動や休息しやすい環境にしていくための支援を行います。 ・季節や行事に応じた施設装飾や歌を歌い日本の四季・文化を感じることができる支援を行います。	・体温計・サチュレーションモニターによるバイタルサイン測定 ・看護師による吸引・吸入・注入・浣腸・呼吸器管理等 ・個々の実態を意識した言葉かけ ・音や絵カードの提示から時間に応じた行動の切り替え ・トイレトレーニング ・ポジショニングの評価 ・季節のわらべ歌遊び　等
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形に対してアプローチ、筋力の維持・　強化を行います。 ・ラジオ体操、音楽に合わせて身体全体を動かす、トランポリン等の活動から粗大運動の発達を促す支援を提供します。 ・バランスボールでの姿勢保持を行います。 ・感覚機能に対する環境調整等を行い、5感を十分に活用できるような支援内容を提供します。	・リハビリ ・体操 ・風船で遊ぼう ・トランポリン ・バランスボール ・お散歩 ・小麦粉粘土 ・フィンガーペイント ・皮膚マッサージ ・ゆらゆらシーツブランコ ・くすぐりっこ　等
	認知・行動	・お子様一人ひとりの認知特性を理解しながら支援を行い、児童自身が受け取る情報を適切に把握、処理対応できるような支援を行います。 ・様々な素材を手のひらや指先、足で触る等、感覚を育む活動を提供します。 ・「始まりの会」で絵カードを用いて「日付、曜日、天気、今日の予定」の確認を行い、時間の認知形成を行います。 ・季節に応じて散歩や遠足などの屋外活動を提供します。 ・見通しを持った言葉かけをし、集団活動に参加できるよう支援します。	・お散歩、遠足 ・葉っぱで遊ぼう ・絵具で遊ぼう ・カレンダーを作ろう ・野菜スタンプ ・ホワイトボード・絵カードを用いての日付・曜日の確認　等
	言語 コミュニケーション	・障害特性に応じて表情や目の動き、手の動き等小さな表出を把握することで相互コミュニケーションを図ります。 ・サインや絵カードを用いて他者とのやりとりをし、自発的な表出ができるよう支援します。 ・他者とのやり取りを通して、物事や現象、自分の行動等に対する言語の概念の理解を促すことができるよう支援します。 ・個々の障害特性に応じたコミュニケーションツールを活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。	・絵カードやサイン等での意思疎通ゲーム ・表出から大人が言語化し、自分の感情と言葉が一致していくような促し　等
	人間関係 社会性	・お子様が安心できるような居場所を提供し、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行います。 ・手遊び、疑似体験活動を通して、他者を模倣する活動や体験を模倣する活動を通して、社会性の発達を促します。 ・自己肯定感を育むことができるような成功体験を多く積める機会を提供します。 ・集団活動で他者と共に活動することを通じて相互理解や互いの存在を認めあい仲間作りに繋がる支援を提供します。 ・長期休暇では、外部ボランティア団体との交流をもち、地域の一員としての認識を育むことができるよう支援します。 ・言語、選択、表情等から自身の感情や気持ちを他者へ伝えることができるような支援を行います。	・手遊び ・ごっこ遊び ・ゲーム ・ボランティア団体との関わり　等

家族支援	・保護者と施設間で連絡を取り合い、情報を共有できるようにします。 ・送迎時に、施設での様子を伝えたり、家庭での気になる様子について伺い、お子様の成長や課題となること、困り事などを共有したり、いっしょに解決策を見つけられるよう支援します。 ・年に2回の面談を実施します。	移行支援	・進級・進学・卒後に向けて将来的な移行に向けた支援 ・学童等と併行利用している場合における併行利用先との連携
地域支援・地域連携	・支援に関わる他事業所や学校と情報を共有し、支援の方向性を統一できるよう努めます。 ・長期休暇を中心にボランティア団体の来訪依頼をし、地域交流を行います。	職員の質の向上	・事業所内研修（月に一回）、外部研修への参加 ・放課後デイサービスガイドライン、療育、制度、5領域にかかる読み合わせ等
主な行事等	4月　春の遠足、入学・進級を祝う会 7月　夏祭り 8月　夏の遠足、保護者面談 9月　保護者面談 10月　運動会・ハロウィンパーティー 12月　クリスマス会 1月　お正月遊び・保護者面談 2月　節分・保護者面談 3月　ひな祭り	その他　月一回　避難訓練 お誕生日会	